

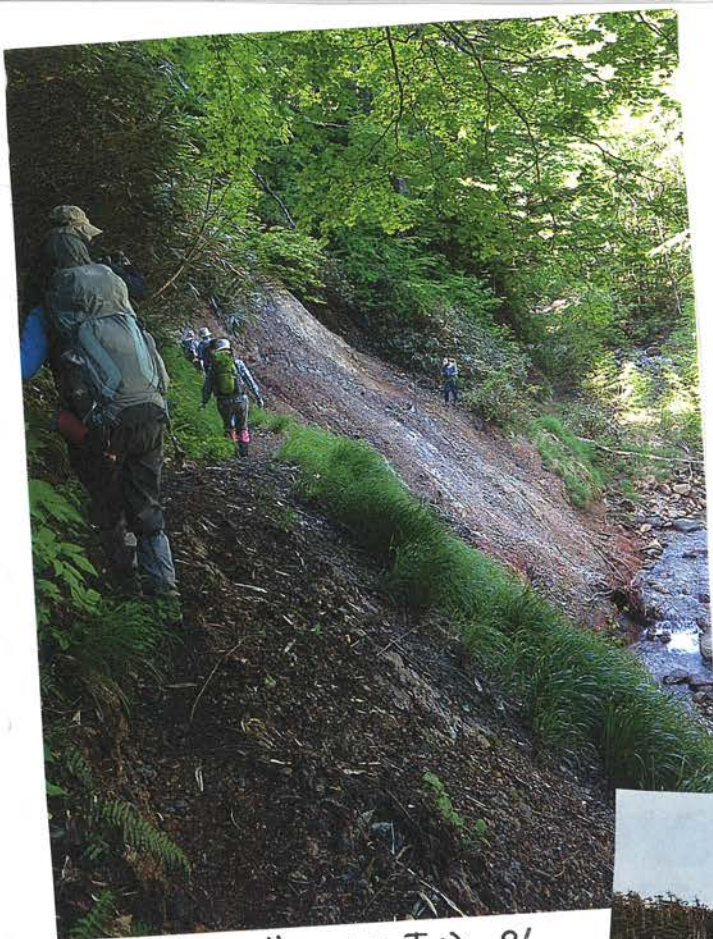
ええっ!? のの
ココ、渡るんですかあ?

6月18日

安比岳 → 八幡平
山頂コース
を歩いてきたよ!!

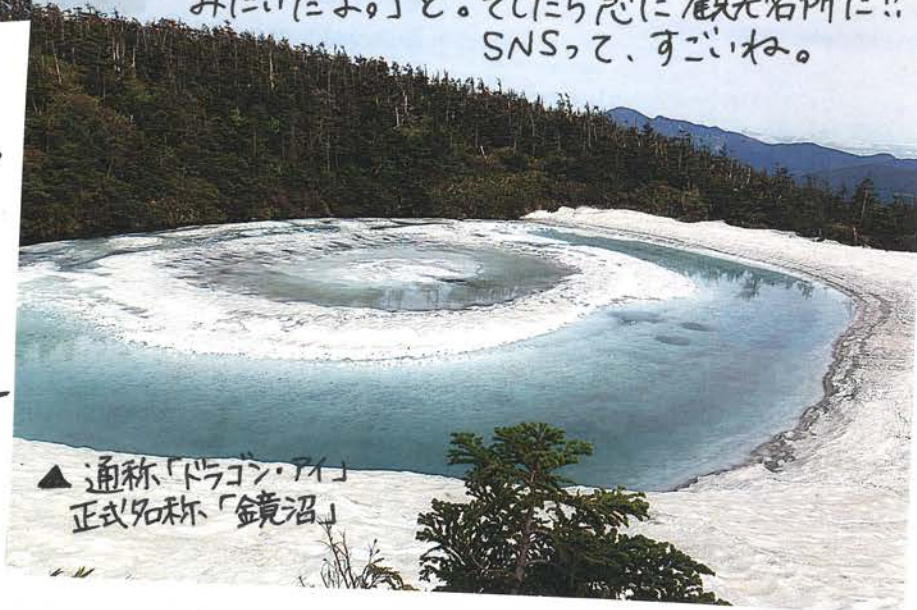
かがみぬま

凍っていた鏡沼が6月頃解けるのは何千年も続いて糸染りがえされてた現象。数年前、旅行でここを言われた台湾の方がスマホでSNSに写真をアップ。まるで龍の目玉みたいだよ。」と。そしたら急に観光名所に!! SNSって、すごいね。



▲どこ歩けばいいんですかー?! てな感じのトラバース。3回くらいあるけど...あれ? 皆さんすごいね。あっさり越えていきますね。待ってー?? 置いてかないでー??

今年のドラゴン・アイは
ちょっと雪解けががたよって
まんまるにはなりませんでした。
黄砂も降って、ドラゴンも目が
痛かったんじゃないかなあ〜。



▲通称「ドラゴン・アイ」
正式名称「鏡沼」



ここに、脱衣場
代わりに木の板が
あります。

秘湯
安比温泉
あひ おんせん

畳1枚&
ちよつくり
の広さだよ。

「野趣あるれ...」すぎです。目隠し? ないよ? でもい〜いお湯なんです。手を入れてみました。42°くらいかなあ。硫黄の香りがちよつします。今日は濁ってましたが、透明なときもあるみたい。手前でそれ違ったお兄さんたちはキャンプして入浴したそうです。足湯して一息つくのによさそう。

ゴール
山頂レストハウス



八幡平山頂 (1613m)



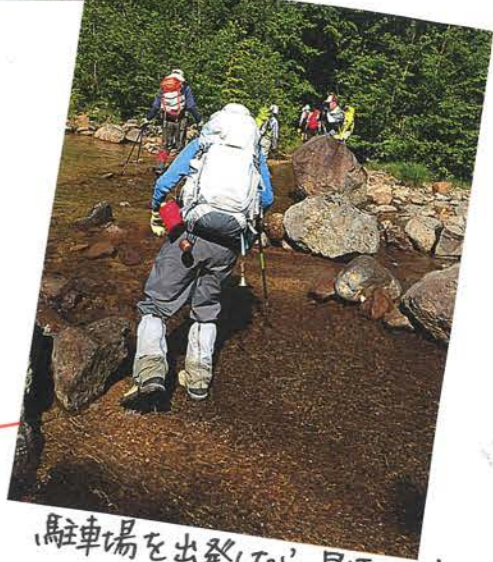
安比岳山頂からの眺望
前森山



大きな岩に何か字が周ってありまして、読めなくて、道案内かな?



八幡沼 西側の湿原

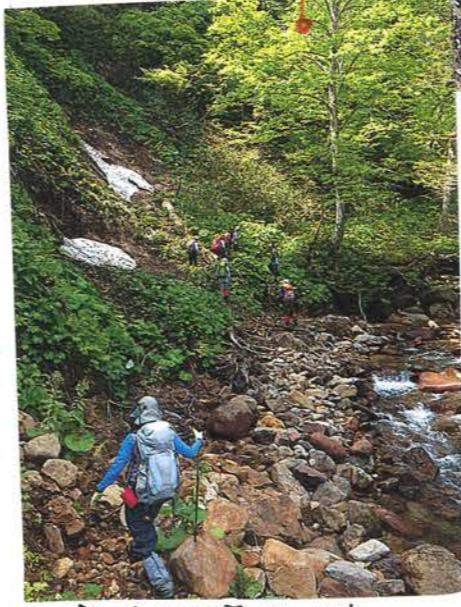


駐車場を出発したら、早速川渡り。



八幡沼

安比岳を下ってから安比岳分岐までの登返しのルートはまだ残雪がいっぱい。所によっては2mくらい残ってました。オオシラビシの林の中を約1時間登ります。



何度も川を渡りながら、川沿いを登っていきます。



ブナの駅

中のまきは

こんな崖が3回くらい。ゆっくり進みます。

今日のコース

<6時間35分>

- 安比岳登山口 → 茶臼分岐 → 安比温泉 → 安比岳山頂 →
- 8:00 → 8:25 → 9:30(休憩)9:45 → 11:35(休憩)11:50 →
- 安比岳分岐 → 源太森 → 八幡沼(陵雲荘) → 八幡平山頂
- 12:50 → 13:10(お昼休憩)13:40 → 14:00 → 14:15
- 鏡沼(ドラゴンアイ) → 山頂レストハウス駐車場
- 14:20 → 14:35

安比あひの由来

諸説ありますが、アイヌ語で『釣り針のように曲がった河の村落』という意味の言葉、という説が有力です。また、安比岳を源流としている安比川沿いに急な崖が多いことから、「崖」(あぶ)と発音するそうです)から転じて『あひ』になったという説もあります。

▼ ウスバサイシン



コマガタケスグリ
木曾駒向岳で発見された
スグリの仲間。実は食用に
なります。

イワナシ
このお花は特に色が
濃くてきれいでした。
鏡沼の前にて。



▼ ショウジョウバカマと
キヌガサソウの共演



ミネザクラ ▶



◀ シラネアオイ



キヌガサソウ
花びらのように見える白い
所は実は萼。花びらは
ありません。個体数が
減っています。安比岳から
ハチ番平へ抜けるコースでは
まだ道立端で見ることが
できます。



▲ ツバクモト



▲ ミズドライヤス

ヒナザクラ
やっと咲きはじめ
ました。ハチ番沼の
西側の湿原で
見ることができます。



◀ コミヤマ
カタバミ



ノビネチドリ
ハクサンチドリに紛れて
時折見かけます。
根が地中で長く
伸びることから夕前が
のきました。



▲ オオバキスミレ

◀ ツクバネソウ



▲ サンカヨウ

バラのような
いい香りが
します。



▲ ウスバスミレ